



平成22年(2010年) 6月14日発行

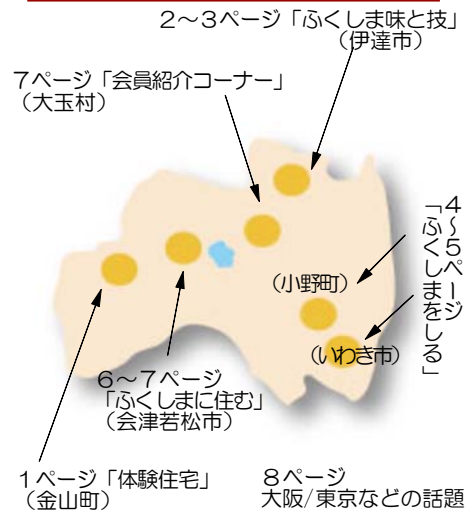
# ふくしまファンクラブ

## 会報 第13号



①今回お話を伺った、「NPO法人奥会津金山あそびのがっこう」理事の長谷川盛雄さん。②体験住宅外観。落ち着いた佇まい。以前は歯科医院の建物だったものを体験住宅用に改修したとのこと。③住宅の中に掲げてある漢詩「山中問答」。碧山荘の名前の由来になった。④町を流れる只見川。雄大な流れと古民家が並ぶ集落は、まさに「ふるさとの原風景」。周辺の景色は、四季折々さまざまな表情を見せてくれる。

### 今号の話題



## 二地域居住体験館 碧山荘

前回の会報に引き続き、平成21年度に整備された田舎暮らし体験住宅を紹介いたします。今回は奥会津の金山町、JR只見線の会津川口駅から近い、碧山荘(へきさんそう)です。

碧山荘は、金山町の「NPO法人奥会津金山あそびのがっこう」で管理しています。

法人では、田舎体験の受入など、様々な活動をしており、様々な活動をしております。碧山荘は、田舎暮らしを検討している方だけでなく、体験などで来られた方も宿泊できます。今後の取り組みとしては、10月に、2泊3日で田舎暮らし体験ツアーを実施するとともに、地域おこしを応援してくださる方を募集しております。地域を盛り上げてくださる方の参加をお待ちしています!(詳しくは、同封のチラシをご覧ください。)

### 碧山荘利用情報

利用可能期間：原則1週間以上1年未満(応相談)  
定員：1組(15名まで利用可)  
利用料金：1週間14,000円、1ヶ月35,000円(3名まで)  
1名増員につき、1週間2,000円、1ヶ月7,000円加算、など。

詳しくは  
NPO法人奥会津金山あそびのがっこうHP  
<http://www.fairytown.com/top.html>  
内の「碧山荘」をクリックしご覧いただくか、欄外の電話等でお問い合わせください。



# ふくしま 味と技

## あづましずく

桃、りんご、なし、柿など主な果物の収穫量が全国上位の福島県。このフルーツ王国福島で、ぶどうの県オリジナル品種を育てようと取組が始まったのが昭和63年。「あづましずく」と名付けられたブドウが今、県内各地で栽培されています。



く、とつてもジューシー。果肉が柔らかく、皮離れが良いので食べやすいのが特徴です。また、「巨峰」より成熟時期が早く、8月中旬からの収穫です。

### ◆「あづましずく」の歴史◆

◆あづましずくとは◆  
種なしの大粒のぶどうです。見た目は「巨峰」に似ていますが、酸味がマイルドで、食べた際に甘みが強

今回取材をさせていただいた深谷正則さんは、福島県の県北地方、伊達市で巨峰やピオーネを栽培している果樹農家で、「あづましずく」という名が付く以前からその育成に携わっています。

福島県果樹試験場（現在の果樹研究所）から新品種「ブドウ福島1号」の試作農家に選ばれた深谷さんは、ピオーネを栽培していた場所を使って栽培を開始しました。他の農家が「長梢（ちようしょう）栽培」（※1）での栽培を試みる中、深谷さんは、長野県のぶどう栽培農家から学んだ「短梢（たんしょう）栽培」（※2）を試みられました。結果として長梢栽培に比して粒の大きさ、収量とも大きく上回る成果となつたそうです。

「ハウス栽培で取り組んだ仲間の農家は、色づきこそ巨峰のような黒さとなったが、粒が小さくうまくいかなかった。うちは、露地栽培で取り組み、色はやや赤かったものの、粒の大きさ、粒の数、甘みは十分で、3

伊達市保原町のぶどう農家  
深谷正則さん



あづましずくの新芽  
（深谷さん宅）



### あづましずくデータ

名称：  
400通を越える応募の中から採用。「あづましずく」は本県の果樹産地である県北地方にそびえる「吾妻連峰」の雄大さと美しい自然の恵みの結晶をイメージさせる名前。

品種登録：  
平成16年1月13日  
（登録番号第11590号）

収穫時期：  
8月中旬～下旬

主な生産地：  
福島市、伊達市、郡山市

年目には1本の木から120房の収穫があった。」とのこと。

現在、この栽培方法が多くの農家で採用され、主流となっております。果樹試験

場が10年以上の年月をかけた開発し、県内の果樹農家によってその栽培方法が確立してきた「あづましずく」。栽培農家も少しずつ増え、県内のスーパーに出回るようになってきています。

※1 ぶどうのつるを短く切らずに自然に近い形で栽培する方法  
※2 つるを2～3芽のみ残して切り、この芽から発生するつるに果房をつける方法



## あづましく特設コーナー設置！！

8月21日(土)  
飯坂温泉ホテル聚楽(福島県福島市)  
宿泊者向けに特設コーナーを設置します。  
ぜひ、この機会にご賞味ください。

問合せ：福島県園芸課  
Tel 024-521-7357

## プレゼント！！

ご紹介した  
「あづましく」1箱1kg  
(2房相当)を  
10名の方にプレゼントします！  
(提供)JA伊達みらい  
※8月下旬の発送を予定しています。詳しくは8ページをご参照ください。



福島県オリジナル品種として産声を上げた「あづましく」ですが、福島県以外ではなかなか手に入りづらいものとなっております。

## ◆幻のあづましく◆

平成20年9月、東京大田市場で「第1回くだもの新品種プラットフォーム」が開催され、全国各地のどのニューフェースの食べ比べが行われました。深谷さんの「あづましく」について、参加者からは「甘みとほどよい酸味もありジュシー」などと好評価を得たとのことです。

ホームページを開設されている農家もあります。が、ほとんどは、農家から地元の共選場に出された後、スーパーなどの小売店で販売がなされています。  
この「幻のあづましく」を旅行の1つの目的に福島県に足を運んでいただければと考えております。

## りんご

県内各地で生産。数多い品種の中でも、味、人気とも抜群の品種が「ふじ」で、無袋栽培の「完熟した蜜入りふじ」として全国の消費者から好評を博しています。



## なし

さわやかな甘さと独特のシャリッとした食感で、秋の味覚の代表ともいえる「なし」。  
こちら、県内各地で産地が形成され、長期間出荷が行われています。



## さくらんぼ

6月～7月上旬の限られた時期にしか出回らない季節感あふれる果実です。中でも、味・人気とも抜群の品種は、「佐藤錦」です。ぜひ、かわいらしい「赤い宝石」をご賞味ください。



## いちご

初の県オリジナル品種「ふくはる香」「ふくあや香」が、平成18年に品種登録されました。2品種とも甘みが強く、粒が大きいのが特徴です。



## 雪下野菜

雪の下で寒さから身を守るため甘みを蓄えた野菜。その歯ごたえと溢れる甘みは、まるで果物。ぜひご賞味あれ。



## フルーツ王国ふくしま 果物 ラインナップ

など

福島県ブランドマーク  
福島県の誇りともいえるべき選りすぐりの産品を認定・認証し、これらを、戦略的に全国に向け販売するものです。



## もも あかつき



サンピーチ  
(新ふくしま  
農業協同組合)

伊達の蜜桃  
(伊達みらい  
農業協同組合)

天  
(伊達果実  
農業協同組合)

## 会津身不知柿



会津身不知柿  
(あいづ農業協同組合)



会津身不知柿  
(会津みどりの農業協同組合)

## あんぼ柿



あんぼ柿  
(伊達みらい農業協同組合)



あんぼ柿  
(伊達果実農業協同組合)



ふくしまをしる

# 識

今回から当面の間、「ふくしま歴史探訪」のコーナーをお休みして、今を生きる輝ける福島県人へのインタビュー記事に掲載したいと思います。

第1回のお相手は、いわき市出身の佐藤安太さん。玩具メーカー(株式会社タカラ)の創業者であり、だっこちゃん人形やリカちゃん、チョコロQなど数多くの名作おもちゃを世に送って来られた「おもちゃ王」です。現在はNPO法人ライフマネジメント



## 輝く！福島県人

### 佐藤安太さん

センターの理事長として活躍されています。

「私は小学生の頃、よくチョコロQを買って遊んでいましたが、失礼ながら福島県人が作ったものとは知りませんでした。

福島県の人にも随分愛していただいています。チョコロQにしてもリカちゃんにしても、昔からのファンがいますが、今でも販売されています。トランスフォーマーというおもちゃは米国の会社と協力して作ったものですが、発売後25年以上経った今でも世界中で売られて

います。おもちゃを通して、いろいろな人に親しみを持って接していただいています。

「だっこちゃんブームの終焉の

際に多くを学んだと聞いています。

それまではいいものを作ることにはばかり専念していましたが、物流や販売、組織など経営全般についてよく考えていかないとダメだということをお教えられました。

「時々「福島県はいいものを作っているのに」と言われることがあります。

地方に比べると、地方の中ですべてを考えてしまいがちになります。これは福島県に限ったことではなく、全国でも同じことです。私はアメリカでも仕事をしたことがありますが、やはりアメリカの田舎も同じです。積極的に都会に出てきたりしないと、本当のマーケットングの環境がわからなくなります。

「日本国内だけでなく、グローバルな時代になってきていますね。」

少し前の新聞に、外国留学する日本人の数が極端に減っていると書いてありました。日本人がどんどん内

向きになっていくよ  
うで心配です。私は  
近年韓国海洋大学校  
の先生と交流してい  
ますが、韓国では教  
育の現場で外国との  
競争に勝つことを是  
として教えています。

しかし日本では残念  
ながら競争は良くな  
いことのように教えら  
れています。私はタカラ時  
代、「おもちゃの世界で  
一番になってやる」とい  
う目標を掲げてやってき  
ました。だから成功でき  
たのだと思っています。  
競争意識を持って、節目  
節目に目標を作っていけ  
ば、活力を持って生きて  
いくことができます。

「この3月に山形大学の  
大学院を卒業されていま  
すが、これもやはりご自  
分に目標を設定されたの  
ですね。」

私は現在86歳です。77  
歳の時に会社から退きま  
したが、やはり隠居だけ  
では満足できなくなりま  
した。それでNPO法人  
ライフマネジメントセン

#### ※佐藤安太(さとうやすた)

大正13年(1924年)いわき市三和町生まれ。磐城中学(現：磐城高校)、米沢工業専門学校(現：山形大学工学部)卒業。終戦後一時帰郷するも上京。昭和28年(1953年)株式会社タカラの前身となる佐藤ビニー工業所設立。昭和35年に「だっこちゃん人形」、昭和42年に「リカちゃん」を世に送り出す。平成4年(1992年)には福島県しやくなげ大使に、平成14年(2002年)にはいわき市サンシャイン大使となる。平成7年には勲四等旭日少綬章を受章された。



NPO法人設立時に立てた目標について説明中の佐藤さん。



大学院の修了証書。おもちゃに囲まれていました。



「今、新しい目標はありますか。」  
少し大きな話になります。が、今の日本には「こんな国家を目指す」という戦略がないように思えます。日本は、貧国から発展を遂げたという意味でも、人口規模においても、他国にはまねできない、個々人が創造性を持って自己実現を図るような国家の実験モデルと

ターを立ち上げ、人材育成や経営理論などについて、福島県内も含めあちこちに  
出向き講義や講演を行って  
きました。その中で感じた  
のは、成功のノウハウの中  
心である創造性や事業の継  
承の難しさでした。そこで  
人材育成、創造性や事業の  
継承について総合的に体系  
化したいと考え、山形大学  
大学院で学ぶことにしまし  
た。そしてついにシステム  
工学として体系化されたも  
のができました。この4月  
からは山形大学でこの理論  
による講義も始めています。  
実は韓国の大学と同じ教科  
書を使ったりしているの  
です。

なりうると思っています。  
これまでの経験を生かし、  
自分が新しい国家ビジョン  
を提案したいと思っています。

最後に福島県の皆さまに  
メッセージを。

これまでも福島県とはい  
ろいろつながりを持ってき  
ましたが、今後ももっとつ  
ながりを深めていきたいと  
思いますのでよろしくお願  
いします。

そして特に若い方へ。高  
い目標を立ててください。  
きつと活力を持つことがで  
きます！

○インタビューを終えて

改めてプロフィールを見  
て、86歳という年齢に驚き  
ました。それほど活力と熱  
気にあふれた方でした。日  
本人なら誰でも知っている  
おもちゃをたくさん世に出  
し、そして現役を退いた今  
も、新しい目標に向かって  
邁進されている先輩の姿を  
見て、福島県人として本当  
に誇らしく感じました。今  
後もご指導お願いいたしま  
す。



佐藤安太さん  
関連施設  
「リカちゃんキャッスル」  
においでください！

佐藤安太さんの故郷いわき市の隣町、小野町には平成4年（1992年）、リカちゃん誕生25周年を記念して作られた「リカちゃんキャッスル」があります。ここではリカちゃんを作っている工場の見学や、リカちゃんのドレスの試着（「なりきりリカちゃん」）もできます。ここだけにしかない限定商品も多数販売されており、リカちゃんファン必見の施設です。ぜひ「リカちゃんキャッスル」においでください！



リカちゃんストラップ。  
限定商品のひとつ

リカちゃんキャッスル

福島県田村郡小野町大字小野  
新町字中通51-3

電話 0247-72-6364

URL <http://www.liocacastle.co.jp/index.html>

定休日：月曜日（お越しの前にお確かめください）

営業時間：9:00～17:00

（入館は16:00まで）

入場料 大人（高校生以上）  
600円、3歳以上～中学生  
300円、3歳未満無料

※団体料金もあります



画像はイメージでありデザインは変更する場合があります。

「ふくばす」をご存知ですか？

高速自動車道を使って福島県においでの方が、旅館・ホテルに「ふくばす」のチラシを提示すると割引特典を受けられる、というちょっとお得な取組みが、この夏スタートします。《加盟の旅館・ホテルに限る。詳しくは、今後開設予定の「ふくばす」公式HP（ふくばす、で検索）をご覧ください。》そして、「リカちゃん」が「ふくばす」のイメージキャラクターとして活躍することになりました。

リカちゃんが描かれたキャンペーンカーがPRに出張いたします。首都圏のサービスエリアなどでお会いしましょう！

■「ふくばす」お問い合わせ先

うつくしま観光プロモーション推進機構

（福島県観光物産交流協会内）

電話 024-525-4024



## ふくしまに住む

# Reason to Live in Fukushima

会津若松市の、歴史的な街並みとしても知られる七日町通りにあるレストラン「パパカルド」。イタリア語でpapa(父)caldo(温かさ)を意味し、シェフの心のこもった温かい料理を食べていただきたいという、シェフ矢口一三(やぐちひつみ)さんの願いが込められています。今回は矢口さんのご紹介です。



### イタリア料理への道

矢口シェフは、山形県出身。18歳で東京へ。最初はフランス料理希望でしたが、音楽家の五十嵐喜芳氏(南麻布のイタリア料理店「マリーエ」のオーナー)に出会ったことをきっかけに、イタリア料理への道へと進みます。イタリアでの研修の後、現在のイタリア料理の名店「アルポルト」の片岡護シェフに師事しました。

### 移住へのきっかけ

「アルポルト」の後、数店で修行し、銀座の「モラナイ」のシェフとして15

人のスタッフの中でトップに立っていたこともありましたが、次第にストレスを感じるようになりました。そのような中、妻の厚子さんの実家の会津に帰るたび、その風土や人柄に惹かれるようになりました。店の仕入れ先として紹介された農家の方がたまたま会津だったこともあり、「ここだったら求めている料理ができるのでは」と考え、会津へ移住し、店をオープンさせようと決意しました。

お店を全面的に支えているのは、厚子さん。北塩原村の出身ですが、移住を決断したのは、矢口シェフ自身だそうです。

### 苦労を経て

13年程前に、最初は飯盛山近くに店をオープンしましたが、今ほどイタリア料理が認知されていなかったこともあり、最初の2、3年は、「会津の三泣き」

(※)を感じたそうです。それでも、いろいろな出会いや、周りの方々に助けられてここまでやってこれたとのこと。会津若松市内の飲食店が加盟する「あいづ地鶏味の会」の発起人にならないかと声をかけていただいたり、リピーターのお客様がいらしたりと、改めて会津に来て良かったと思っています。

### これから

とある陶芸家の方が、「一つ一ついいねいに作られた料理で、体が満足します」と語るなど、お客様に喜んでいただけるのが何よりだそうです。これまでも、地元の酒蔵とのコラボレーションで、「日本酒とイタリアン」などの催しを行っています。今後も、会津の食材を使った、会津ならではのイタリアンだけでなく、福島県内の食材も使い、ていねいな仕事をしていきたいと話していました。



矢口一三さん



落ち着いた雰囲気店内。ゆったりと食事を楽しめる

レストラン パパカルド

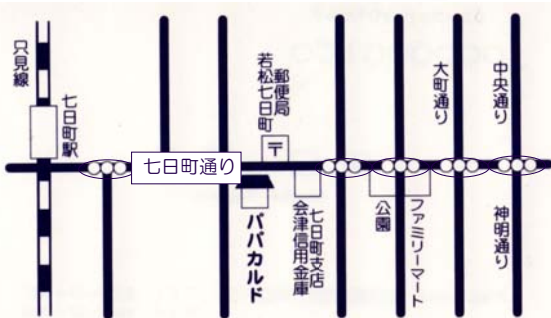
papa caldo

会津若松市七日町2-39

電話 0242-93-7887

FAX 0242-93-7888

不定休(電話でのご予約をおすすめします)



※「会津の三泣き」…初めて会津に赴任した人は、よそ者に対する会津人のとっつきにくさにもまず一泣き、やがて会津での生活になれてくると、温かな心に二泣き、会津を去るときには、情の深さに離れがたくて三度目の涙を流すといひます。



## とある日の「パパカルド」ランチメニュー

(以下のメニューのほか、パンとコーヒー  
or紅茶がついて1,890円のランチコース)



### ▲前菜

会報第9号にも登場した「やますけ農園」の卵を使ったオムレツ(以下時計回りに)、地元紫黒米を使った焼きリゾット、やますけ卵の卵白を使ったゴルゴンゾーラとマスカルポーネのムース仕立て、自家製スモークサーモン、季節の野菜サラダ。

### ▼パスタ

会津野菜のペペロンチーノ風。季節の野菜をメインに10種類程度の食材を使用。これからの季節は、アスパラやズッキーニなど夏野菜を使ったパスタが楽しめそう。



### ▲一口菓子

(上)紫黒米の粉入り生チョコレート ポリフェノールのW効果!!。(下)イタリア語の「ポーノ」(おいしい)にかけた、会津のそば粉を使った、「さくっ、ほろっ」の、そばポーロならぬそばポーノ。会津山塩がアクセント。

## ファンクラブ 会員紹介コーナー

第5回目は、子育て世代を代表して、家族で福島県大玉村に移住し、子育てに頑張る「あったかふくしま観光交流大使」の飯田順子(いいたじゅんこ)さんをご紹介します。

飯田さんは、東京都の出身。ご主人・お子さん2人の4人家族で、子育ての傍ら、Fuxima(福島に関心がある人のSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)サイト)のサポートスタッフとして、福島にゆかりのある方々の御縁のお手伝いをされています。

### 一福島県に来られたきっかけは。

夫の仕事が決まったことです。それまでは、全く福島県に来たことはなかったのですが、夫婦で田舎に住みたいと話していて、山梨、長野などを探していました。



家の近くから雄大な安達太良山が見えます

### 一大玉村に住んでみてどうですか。

買い物をするにも、郡山市に近いし、かつ、自然豊かなところに住むことができ、満足しています。

おばあちゃんが近くにいないということがあり、子どもの怪我や病気などがあると、村のサポートシステムなどを利用したりしました。しかし、仕事をしながらの子育てはつくづく大変だと感じました。



また、移住して最初はなかなか人とのつながりができませんでしたが、Fuximaによって地元の人だけでなく、他の地域に移住した方などとも交流することができました。

### 一今後については。

結婚するまでは成田空港で働いており、外国人のお客さんなどとも接する機会が多く、韓国語に興味を持つようになりました。

接客など、人と接することが好きなので、子育てが落ち着いたら韓国の観光客などを呼べる仕事をしてみたいです。また、ブログなどで福島をPRしていきたいと思います。

### 〈関連サイト〉

○福島県版地域SNS Fuxima  
<http://www.fuxima.com/>

○子育て・子育て情報サイト「ふくしまエンゼルネット」  
<http://www.pref.fukushima.jp/angelnet/index.html>



スタッフの皆さん。左から、植本真砂子所長代理、勝見侑美相談員、澤田牧子相談員、小西律子相談員、福島県出身で「あつたかふくしま観光交流大使」でもある矢吹精さん。

「大阪ふるさと暮らし情報センター」お問い合わせ先

住所 大阪府大阪市中央区本町橋2番31号  
(シティプラザ大阪内1階)

電話 06-4790-3000 FAX 06-4790-3111

E-mail info@osaka-furusato.com

URL <http://www.osaka-furusato.com/>

営業時間 火～土(月・日・祝、定休) 10:00～18:00

関西圏におけるふるさと暮らし情報の発信拠点として、大阪市中央区にあるホテル、シティプラザ大阪の1階に開設されている「大阪ふるさと暮らし情報センター」。福島県もブースを設置しており、センタースタッフが、福島県大阪事務所と連携しながら、福島県のふるさと暮らしの問い合わせや相談に応じています。7月31日(土)の午後には、センターで、福島県を紹介

ふるさと暮らし  
相談窓口だより  
大阪ふるさと暮らし  
情報センター

する「ふるさと暮らしセミナー」を開催します。詳細が決まり次第、Uターンホームページ(このページ欄外の左下のアドレスを参照)や、センターのホームページでお知らせします。ふるさと暮らしとまではいかなくても、観光やグリーン・ツーリズムなどで福島に行ってみたいとお考えの方は、ぜひご参加ください。

※福島県大阪事務所 〒530-0001

大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階

電話 06-6343-1721 FAX 06-6343-1727

## ファンクラブ インフォメーション

### ふくしまファンクラブ 会員証と会報の発送 (ご家族でお申込みの場合)

同居所のご家族などが、2人以上でファンクラブにお申込みの場合、会員証は1人分ずつお送りしておりますが、その後の会報の発送は、同居所の場合は1通にまとめ、代表の方にお送りしております。より多くの方々にお送りするため、ご了承願います。(プレゼント

の応募等につきましては、会員の方であれば皆さんご応募できますので、奮ってご応募ください。)

## 八重洲で“福”を呼び込もう！！



☆「福の日」だけの限定品販売！  
☆毎月「福の日」スタンプを集めよう！  
☆「福の日」はソフトクリームが250円！

福島県八重洲観光交流館

電話 03-3275-0855

JR東京駅八重洲南口より徒歩3分

<http://www.tif.ne.jp/jp/sp/yaesu/>

毎月29日は

福  
“ふく”  
の  
日

平成23年3月29日まで開催

## ふくしまのうまいもん プレゼント

応募された方の中から抽選で「あづましずく」1箱1kg(2房相当)を10名の方にプレゼント！



あづましずく(イメージ)

応募方法 はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、会員番号、今回の会報の感想などを明記し、下記のあて先へお送りください。

応募締切 7月30日(金) 必着  
あて先 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16  
福島県観光交流課  
ふくしまファンクラブ「プレゼント」係

\*当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。お預かりした個人情報は、賞品の発送などファンクラブに関する事務以外に使用することはありません。福島県個人情報保護条例に基づき、個人情報の目的外利用はいたしません。